

# まちの話 だい

## 9月10日 | 登山者の安全を願って

大井川鐵道の福用駅に、地元有志が登山者の安全を祈願する「高福地蔵尊」を設置し、住民などによる除幕式が行われました。

同駅は八高山の登山口にあたり、年間約800人のハイカーが訪れる地。有志の代表は式で「旧家で保管されていた木彫りの地蔵が、錫杖（つえ）と水瓶（水がめ）を持ち、登山と縁が深い姿だった。駅舎から人々を見守ってほしい」と話しました。



## 9月27日 | 子育ての悩みを共有

重度障害児親子の会「リアンの会」が交流会を開催し、親子約50人が参加しました。

親同士の情報交換の場を設けようと、同会が企画。普段は子どもの年齢により交流の場が異なる親同士が、障害の特性に応じたグループを作り、子育ての悩みや経験を共有しました。この日は、リバティ子どもクリニックの伊東充宏院長や市福祉課職員も車座に加わり、質問を受けました。

## 9月23日 | 液体ミルクの利点を学ぶ

道悦地区の薬局で、液体ミルクの使い方を学ぶ子育て支援講座が開かれました。

講座は、市が包括連携協定を結んでいるウエルシア薬局(株)協力のもとで開催。妊婦や子育て中の親、乳幼児家庭を支援する人が参加し、災害時の備えとしても便利な液体ミルクについて学びました。参加者は「安全安心で、手軽だと分かった。これから利用していきたい」と話しました。

